

## 令和6年度 中央児童会館に係る指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

日時： 令和6年10月3日（木） 15：00～17：30

場所： 中央児童会館 7階工芸室

出席者： 委員5名

事務局3名（こども未来局こども政策部こども健全育成課長 他）

### 1 開会

### 2 委員紹介

### 3 委員会の設置について

事務局より委員会設置要綱について説明。

### 4 委員長及び副委員長の選出について

委員会設置要綱の規定に基づき、委員長に中村委員、副委員長に川上委員を選出。

### 5 会議の公開・非公開について

委員会設置要綱の規定に基づき、「評価基準」及び「指定管理者からの意見聴取」は公開、「評価」については非公開とすることを確認。

### 6 評価について

#### (1) 評価基準

意見なし。

#### (2) 指定管理者からの意見聴取

委員： 中央児童会館は市内に1カ所の設置ということだが、市内の小中高生に向けた広報はどのようなツールを使っているか。

指定管理者： 紙ベースでは「あいくるだより」という広報紙を作成し近隣の小学校や市有施設に配布している。他にも SNS やホームページ、市政だよりなどで広報をしているが、一番効果があるのは口コミであると感じている。

委員： 良い取り組みをしていると思うので、より多くの人に情報が届くよう広報には力を入れていただきたい。

委員： 子育て支援事業について、2歳以上が対象になるものと、2歳未満が対象になるものなど年代でプログラムの対象を分けているが、例えば1歳児と2歳児のきょうだい児がいる場合、どのように対応されているか。

指定管理者： 実際は対象年齢をきっちりと分けているわけではなく、対象の年代が違うプログラムに参加していただいても問題ない。プログラムの中にも静的なものと動的なものがあるので、状況に応じて自由に選んでいただくことも可能である。

委員： 対象の書き方について、「2歳以上」と記載すると、その年齢以外の子どもが参加できないような受け取られ方をしてしまうので、「おおよそ2歳」など幅を持たせた表記にすると、きょうだい児を持つ保護者の方も安心して参加できるのではないか。

委員： 当初予算と決算の収入の差について、一時預かり事業で配慮が必要な子どもの利用が増えており、その対応により職員の配置を調整した結果、受入人数を減らさざるを得ないこともあるためとのことであるが、対応策はあるか。

- 指定管理者： あいくるの一時預かりは土日も開いており、平日に別の施設を利用している人が、土日に何とか預かって欲しい、といった依頼が増えてきている。安全にお預かりするため、配慮が必要な子どもがいる場合には職員配置を調整しているため、預かることのできる人数が減ってしまう。
- 委員： あらかじめそういう事も踏まえて予算を組んでいるが、想定以上だったということか。
- 指定管理者： そのとおりである。
- 委員： 出前児童館等で公民館と連携してプログラムを提供しているのは素晴らしいと感じている。利用状況を見ると市外の方の利用者も多いようであるが理由は。
- 指定管理者： 西鉄電車でアクセスしやすい立地なので、大野城市や春日市方面から来られる方も多い。
- 委員： 決算の数字を見ると、令和5年度と比較して利用者の少ない令和4年度の方が電気代の支出が占める割合が大きいがなぜか。
- 指定管理者： 利用者数に関わらず、固定の費用はあまり変わらないということと、特に令和4年度は電気代の単価が高く、支出額が大きかったことが理由として挙げられる。
- 委員： 事業計画書の中で、「FUKUOKA 児童館ネットワークの立ち上げと協力」と謳っているが、具体的にどのような取り組みをしているか。
- 指定管理者： 他県では「児童館連絡協議会」という県内の児童館を取りまとめる組織があるが、福岡県ではまだその組織がないため、児童館間での情報共有やネットワークを広げるためにあいくるが中心となって関係づくりをしているところである。
- 委員： 事業計画書の中で、「学校のいじめ防止委員会等への参画」とあるが、実際に学校からあいくるへ相談などはあるか。
- 指定管理者： 直接学校から相談があるわけではないが、学校に行けない子どもがあいくるに来て、スタッフが話を聞く中で、学校と連携して対応することはある。中高生向けに実施している「あいくる CAFE」や「中高生 TIME」でも、カードゲームや食事をしながら気軽に話せる雰囲気を作っている。他愛もない話をしている中で不意に子どもの本音が出たりする。対応するスタッフもあるときは先生、あるときは友達のような関係性で子ども達と寄り添えるように努めている。
- 委員： 利用者アンケートの中で、中高生がどんな部分に居心地のよさを感じているかが分かるような設問を追加すると、今後の運営の参考になるのではないか。
- 委員： 一時預かり事業について、オンラインでの予約を検討したが出来なかったという説明があったが、その理由は。
- 指定管理者： 例えば配慮が必要な子どもの利用希望があった場合などは、保育士の配置を個別に調整する必要があるため、現時点ではシステム予約の仕組みを作るのは難しいと考えている。

### (3) 評価の実施

## 7 閉会